

令和3年度地球環境保全活動支援事業交付決定一覧

No.	補助金交付団体	事業の内容 (要約)
1	Gomyo倶楽部 代表 大内 正伸	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境の残された棚田で稲刈り(9月)や脱穀(10月)、土づくり(12月)などの体験を提供する。 ・生物観察会(6月)では、ホタルやライトトラップに集まる初夏の昆虫を中心に観察する。 ・里山の観察会(10月)では、地元住民のガイドによってかつて炭焼きが行われていた周辺里山について勉強する。
2	特定非営利活動法人 こにふあくらぶ 理事長 高橋 孝治	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ所のヒノキ林の間伐及び枝打ちを行う。 ・間伐した材のうち建築材として利用できるものは製材所に持ち込み、その他大部分のものはボイラー燃料として無償で提供。
3	寒川里山オーナー会 会長 高橋 正明	<ul style="list-style-type: none"> ・一般県民(児童や地域住民)を対象とした里山イベントの開催 6月:カブトムシの寝床づくり 12月:木工体験(里山の間伐材を活用) 2月下旬:きのこ植菌体験2回 ・年間を通して里山の案内 ・地域の草刈りに協力
4	うどんまるごと 循環コンソーシアム 会長 角田 富雄	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスに係る講演会または勉強会の開催(1回程度)。 ・ちよだ製作所プラント見学、フードドライブ、うどん手打ち体験、小麦種まき体験ができる「うどんまるごとエコツアー」の1回開催 ・小麦製粉体験やバイオマス生成実験など小学生等の一般市民を対象とした体験学習イベント(1回以上) ・学校への出前教室、親子向け出前講座(1回以上)
5	(一社)香川県 産業廃棄物協会 会長 松本 英高	<ul style="list-style-type: none"> ・四国霊場の遍路道にある不法投棄のゴミの回収作業を、協会と地元住民が協働して実施する
6	公益財団法人 オイスカ四国支部 会長 泉 雅文	<ul style="list-style-type: none"> ・荒れている竹林で、間伐等を実施(夏以降 5回実施予定)。 ・間伐した竹は粉碎して、竹チップにする。 ・PTAと連携して校内の庭に撒いてもらい、雑草を抑制する。
7	川西地区 地域づくり推進協議会 会長 岩崎 正朔	<ul style="list-style-type: none"> ・竹林伐採跡地にケヤキやクスノキなどの高木とサザンカを植樹し、緑化を推進する。
8	栗林校区 コミュニティ協議会 会長 高田 稔	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生や地域住民と共に栗林公園とその周辺の清掃活動を行う。 ・清掃活動時に、来園者や地域住民へ啓発グッズ(紙製クリアファイル)の配布。 ・公園前地下歩道に、地域の児童・生徒・園児や高齢者の方々によるアート作品の掲示。
9	香川の水辺を考える 会 代表 吉田 一代	<ul style="list-style-type: none"> ・当会主催のイベント「香川自然博物館」で、有明浜にある希少種の海浜植物を観察し記録していくことの大切さを実践を通して知ってもらう。 ・海浜植物や昔の有明浜の写真パネルを作成し、展覧会を開催する。 ・パネル展開催期間中に、ワークショップを行う。
10	有明浜の海浜植物と アサギマダラ飛翔会 会長 杉村 勝司	<ul style="list-style-type: none"> ・スナビキソウの群落を再生するために苗づくりをし、定植の際には市民や会員などに参加してもらい、希少海浜植物の大切さを伝える。 ・有明浜のゴミ回収作業(年6回)や有害外来植物の除去作業。 ・海浜植物の観察と勉強会の実施(毎月1回)。 ・希少野生植物ウンランの観察保護育成。 ・アサギマダラが吸蜜するフジバカマを育苗し、市民に頒布する。 ・香川のアサギマダラ写真展の開催。 ・有明浜の研究者を招いて、海浜植物講演会を開催

No.	補助金交付団体	事業の内容（要約）
11	農業支援サークル KUB 代表 奥田 大智	<ul style="list-style-type: none"> ・農家支援を通して、安心・安全な食の向上や地産地消の推進、二次的自然の質の向上による環境負荷低減、生物多様性の保全を目指す。 ・さとやまのうぎょう体験教室を開催し、農業が持つ収穫の喜びや生命への感謝など普段感じることができない体験を提供する。
12	香南町ひまわり プロジェクト 会長 松下 桂子	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちによるひまわりの成長の観察、記録、自由研究としてのまとめと発表を行ったり、ひまわりのテーマソングの作成。 ・ひまわりの成長と子供たちの活動の様子、テーマソングをSNSで発信。 ・ひまわり開花時期の混雑を緩和するために案内用イラストマップを作成。 ・緑肥としてひまわりを活用したブロッコリー栽培の植え付けから収穫までを子供たちに体験してもらう。 ・廃棄されるブロッコリーの葉の商品化の検討やこども食堂での利用。 ・ブロッコリーのイベント開催。